

# JETプログラムについて

---

令和6年6月11日  
自治行政局国際室

# J E Tプログラム ( "The Japan Exchange and Teaching Programme" )

JETプログラム:外国青年を日本に招致、地方自治体等が小中高校での外国語教育・自治体での国際交流業務に活用するプログラム

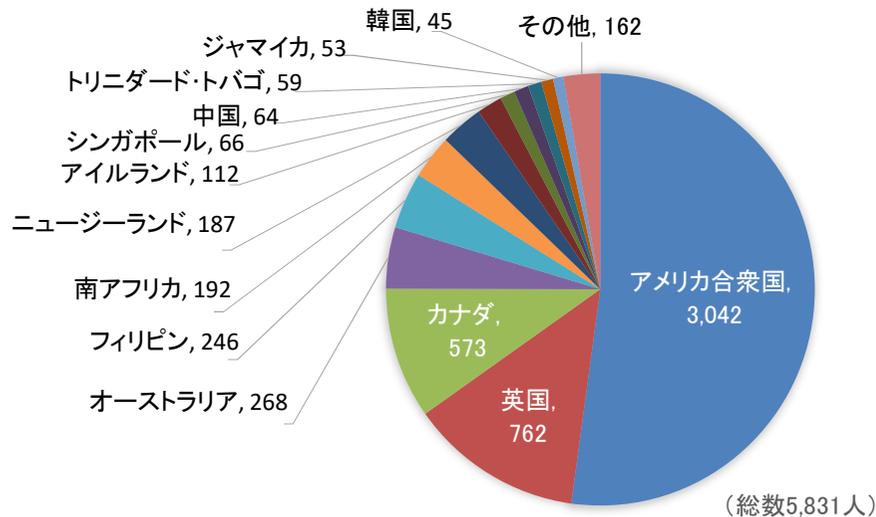
⇒令和6年で**設立38年**:

累計で世界78か国から約7万7千人(令和5年時点)の外国青年を招致する**世界最大規模の人的交流プログラム**

⇒**小学校での英語教育早期化やインバウンド対策や海外販路開拓、多文化共生等の業務などに有為な人材を供給**

## (1) 令和5年度の状況

### ◆ 招致国別の内訳



### ◆ 職種別内訳

- **ALT**(Assistant Language Teacher: 外国語指導助手) : 5,355人  
⇒ 教育委員会や学校で、外国語教員等の助手として職務に従事
- **CIR**(Coordinator for International Relations: 国際交流員) : 468人  
⇒ 地方公共団体の国際交流担当部局等で国際交流活動に従事
- **SEA**(Sports Exchange Advisor: スポーツ国際交流員) : 8人  
⇒ スポーツを通じた国際交流活動に従事

## (2) 地方財政措置

### ◆ 都道府県

(金額は令和5年度)

- 地方自治体におけるJET参加者の任用に要する経費(報酬・旅費など)について、普通交付税措置  
(標準団体(人口170万人)の場合、約2億5千万円(JETプログラムコーディネーター\*に係る経費の地方交付税措置含む。))
- 私立学校におけるJET参加者の雇用に係る都道府県の助成経費について、特別交付税措置  
(算定: 地方単独事業で一人上限602万円×0.5)

### ◆ 市町村

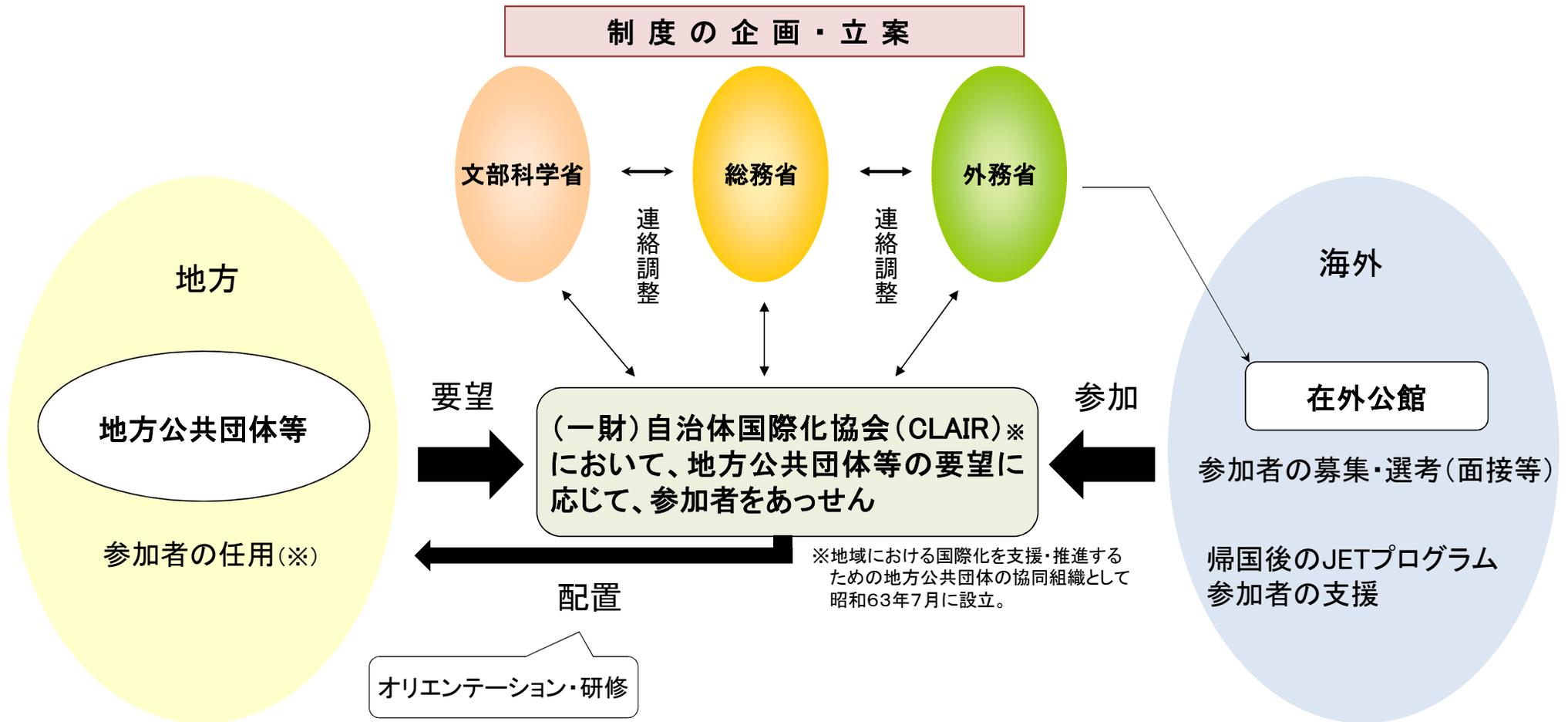
- 地方自治体におけるJET参加者の任用に要する経費(報酬・旅費など)について、当該団体のJET参加者数に応じた額を普通交付税措置  
(標準団体(人口10万人)の場合、120万円+JET参加者数×482万円)
- JETプログラムコーディネーター\*に係る経費について、特別交付税措置  
(算定: 地方単独事業で直接要する経費×財政力補正係数×0.5)

※ プログラムコーディネーターとは、JET参加者の地域における生活や、地域における交流活動、教育委員会や各学校現場、国際交流部局における活動に関する連絡調整の円滑化を支援する人材をいう。(H28～ 特別交付税措置(市町村分))

<業務内容例>

- JET参加者が日常生活を送る上で必要な情報の提供や相談
- 緊急事態(病気、事故等)への対応支援
- JET-ALTと教育委員会担当者や学校との連絡調整の支援

# JETプログラム実施の仕組み（総務省・外務省・文部科学省・自治体国際化協会）



(※)参加者の任用期間について

- ・原則として1年間
- ・任用団体により必要な能力を有すると認められる者は3年間までの参加が可能
- ・任用団体により勤務実績等が特に優れていると認められる者は最長5年間の参加が可能

# JETプログラムの一層の活用 (令和5年8月23日付け総務省・外務省・文部科学省事務連絡)

○ JETプログラムの一層の活用を促すため、JETの活用方策について、3省連名で自治体に周知

**ALT(外国語指導助手)について** (令和5年度: 930自治体等が任用、28か国、5,355人)

- ・小学校・中学校・高等学校の**外国語活動や外国語科の授業**等で活躍するほか、**地域の国際交流活動**にも貢献
- ・学習指導要領や第4期教育振興基本計画(令和5年6月16日閣議決定)等を踏まえ、一層の活用
- ・学校や地域の現場でどのような活動を通じて外国語教育の充実と国際交流の進展を図り、相互理解の増進や地域の国際化に貢献しているかについて取りまとめた「JETプログラム外国語指導助手(JET-ALT)活動事例集」を令和5年7月に公表し、ALTの更なる活用や新規採用、ALTによる新たな活動の創出等に活用



JETプログラム外国語指導助手(JET-ALT)活動事例集の内容の抜粋

**CIR(国際交流員)について** (令和5年度: 250自治体等が任用、35か国、468人)

- ・高い日本語能力(N2以上)を有する人材を選考し、これまで国際交流関係事務、地域住民の異文化理解のための交流活動等の業務に従事
- ・近年では、**インバウンド対策**や**海外販路開拓**、**多文化共生等**の業務分野においても従事するケースも出てきており、「デジタル田園都市国家構想基本方針」(令和4年6月7日閣議決定)等を踏まえ、一層の活用



盆栽の魅力を英・日で発信し  
インバウンド誘致に取り組む  
イギリス人CIR(埼玉県さいたま市)



海外の旅行会社との商談会に臨む  
カナダ人CIR(兵庫県豊岡市)

**SEA(スポーツ国際交流員)について** (令和5年度: 4自治体が任用、7か国、8人)

- ・東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機に、スポーツを通じた国際交流が注目されていることから、一層の活用

# JETプログラム外国語指導助手（JET-ALT）活動事例集（概要）

## 策定の趣旨

- ・JETプログラムにより招致した外国語指導助手（JET-ALT）が、学校や地域の現場でどのような活動を通じて外国語教育の充実と国際交流の進展を図り、相互理解の増進や地域の国際化に貢献しているかについて取りまとめたもの。
- ・自治体や教育機関、現役のJET-ALT、今後JETプログラムへの参加を検討する外国青年等に対し、好事例を紹介し、JET-ALTの更なる活用や新規採用、JET-ALTによる新たな活動の創出、JETプログラムへの応募等を促す。

## 事例集の特徴

- ・掲載事例は、①指導方法の工夫など学校における取組（17事例）と、②地域活性化や多文化共生など地域の国際化に資する取組（13事例）に大別。
- ・外国人住民の増加や多国籍化、教育現場におけるICTの利活用進展等の社会情勢の変化を踏まえ、特色ある取組を掲載。  
 （例） デジタルツールを活用した取組、地域の防災に資する取組、英語以外の言語による取組、異文化理解に資する取組、地域の魅力発見・発信に資する取組、幅広い住民参加型の取組 など
- ・JET-ALT自身による投稿事例をコラム「現場のJET-ALTから」として掲載。
- ・それぞれの取組の特色を分かりやすくタグで示すとともに、工夫した点や苦勞した点についても記載。

事例集(本体)

| 取組の主体   |      |          | 取組の対象 |    |    |    |    | 地域の国際化 |       |       | 特色ある取組 |          |       |            |
|---------|------|----------|-------|----|----|----|----|--------|-------|-------|--------|----------|-------|------------|
| JET-ALT | 任用団体 | CIR等との連携 | 児童・生徒 |    |    |    | 教員 | 住民     | 異文化理解 | 地域活性化 | 多文化共生  | 長期休業中の取組 | 配置の工夫 | デジタルツールの活用 |
|         |      |          | 未就学児  | 小学 | 中学 | 高校 |    |        |       |       |        |          |       |            |
|         |      |          |       |    |    |    |    |        |       |       |        |          |       |            |



※日本語版に加え、英語版も策定。

- （参考）
- JETプログラム（語学指導等を行う外国青年招致事業（The Japan Exchange and Teaching Programme））  
 外国青年を招致して地方自治体等で任用し、外国語教育の充実と地域の国際交流の推進を図る事業。  
 1987年のプログラム開始以来、累計で約7万7千人（令和5年時点）の外国青年を招致。（令和5年7月現在の参加者数：5,831人）
  - JET-ALT（JETプログラムにより招致した外国語指導助手（Assistant Language Teacher））  
 教育委員会や学校で、外国語教員等の助手として職務に従事（5,355人）  
 ※他にCIR（国際交流員）、SEA（スポーツ国際交流員）がある。

# JETプログラム外国語指導助手 (JET-ALT) 活動事例集 (掲載例)

## 多彩！教室で活躍するJET-ALT

## コラム 現場のJET-ALTから

### ALT目線で発信「ALT Journal」の作成(宮城県)

| 取組の主体   |      |          | 取組の対象 |    |    |    | 地域の国際化 |       |       | 特色ある取組 |          |       |            |
|---------|------|----------|-------|----|----|----|--------|-------|-------|--------|----------|-------|------------|
| JET-ALT | 任用団体 | CIR等との連携 | 児童・生徒 |    |    | 教員 | 住民     | 異文化理解 | 地域活性化 | 多文化共生  | 長期休業中の取組 | 配置の工夫 | デジタルツールの活用 |
|         |      |          | 未就学児  | 小学 | 中学 |    |        |       |       |        |          |       |            |

JET-ALTの目線から、県内で生活する中で印象に残った場所、イベント、興味をもった事柄について、写真やクイズの掲載、出身国との比較など、様々な工夫をこらして、自主学習用の読み物「ALT Journal」を作成。

- Miyagi English Libraryとして宮城県教育庁のホームページに掲載、授業や自主学習等のため、教員も児童生徒も自由に活用できる。
- ALT Journalには、自分で考えたり表現したりする問題や、JET-ALTの先生に質問してみるよう促すコメントなどを入れ、実際のコミュニケーションにつながるよう工夫。
- 児童生徒がふるさとの長所や海外の文化について興味を持つきっかけにもなった。

**ALT Journal**

**My two hometowns: Kami and Iowa**  
By: Dakota Kelley (Kami ALT)

This winter it snowed for three days. I watched the snow to see if it would stop. It was beautiful, but the snow reminded me of my hometown, Iowa. I felt a little homesick, so I checked a highway camera in Iowa on my computer. The images showed me how much snow had fallen. I was surprised because there wasn't that much snow!

When I went back to Iowa for the winter vacation, it also snowed for three days. My home in America was just like Kami town!

In Kami, Mt. Yakurai is a good place to ski. There aren't any mountains in Iowa. But, like Kami town, Iowa has many fields that become blanketed with snow.

This year, I saw many children playing in the snow! In Iowa, children usually sled down hills, throw snowballs, and build snowmen. Kami Town's children play the same way. For me, I want to practice skiing with locals and students. (165 語)

※ Iowa: アイオワ州 homesick: ホームシック highway camera: 道路監視カメラ  
images: 画像 blanketed with: ーておおわれた field: 畑 sled down: そりすべりまする  
hills: 丘 snowballs: 雪玉 snowmen: 雪だるま

**Questions**

- 1 Why did Mr. Kelley check the highway camera?
- 2 What do children in Kami Town usually do in winter?

★ How did you spend your last winter vacation? If you have the chance, would you like to go abroad next winter? What would you do and where would you go? Write about it.

Last winter vacation I \_\_\_\_\_

For next year's winter vacation I want to \_\_\_\_\_

ALT Journal

### 教職員向け英会話教室「イングリッシュ・カフェ」(熊本市)

| 取組の主体   |      |          | 取組の対象 |    |    |    | 地域の国際化 |       |       | 特色ある取組 |          |       |            |
|---------|------|----------|-------|----|----|----|--------|-------|-------|--------|----------|-------|------------|
| JET-ALT | 任用団体 | CIR等との連携 | 児童・生徒 |    |    | 教員 | 住民     | 異文化理解 | 地域活性化 | 多文化共生  | 長期休業中の取組 | 配置の工夫 | デジタルツールの活用 |
|         |      |          | 未就学児  | 小学 | 中学 |    |        |       |       |        |          |       |            |

勤務先の小学校において、同僚との交流を深めるとともに、英語力の向上に貢献するため、毎週火曜日の午後学校の図書館で、教職員を対象にベイリーのイングリッシュ・カフェ (BEC) を開催。

- BECは会話に重点を置いた内容で、教職員の興味を反映したテーマ(旅行先での食事の注文、健康と身体、音楽など)に関する簡単な文法やフレーズも教えた。
- 参加した教職員は、自分の英語力に自信を持つようになり、授業をするときや生徒の英語活動をサポートするときに、英語を使う頻度が増え、生徒もその恩恵を大いに受けた。
- 市内の他のJET-ALTにも共有し、他校でも昼休みにイングリッシュカフェが開催されるようになった。



Bailey Gaudin さん  
(発案・実施しているJET-ALT)

Baileyさんが作成したポスター

**BEC 2 JULY 2019**  
Bailey Gaudin

Have to ~ / don't have to ~  
must / must not ~  
have got to ~

過去形 現在形 未来形  
X must must  
had to have to have to  
X must must  
X have got to have got to X

EXAMPLES  
• You must do your homework.  
• I have to mark this work.  
• I have got to talk with Mr. Sako about basketball.

「must」は言わなければならないが決断。  
「have to」は「have got to」は種か  
「have to」は必要か決断  
現在形に、分詞は同じ意味?  
「have got to」はこれか決断!  
「must」は言わなければならないが決断。  
「have to」は「have got to」は種か  
「have to」は必要か決断  
現在形に、分詞は同じ意味?  
「have got to」はこれか決断!  
「must」は言わなければならないが決断。  
「have to」は「have got to」は種か  
「have to」は必要か決断  
現在形に、分詞は同じ意味?  
「have got to」はこれか決断!

余分な英語!!  
mad → angry → furious  
sad → miserable → depressed  
glad → happy → delighted  
peachy → hungry → starving  
tired → sleep → exhausted  
cold → freezing  
calm → cool → boiling  
broken → hurt

Handed Eyes - Thomas Thomas 洋楽  
Kubera - Game Layer (X2) 洋楽  
Simple Man - Ike & Tina Turner 洋楽  
The Shoop - Simple Song 洋楽

# JETプログラム外国語指導助手（JET-ALT）活動事例集（掲載例）

## 輝く！地域へ飛び出すJET-ALT

### JET-ALTによる地域紹介動画の作成（宮崎県宮崎市）

| 取組の主体   |      |          | 取組の対象 |    |    |    | 地域の国際化 |       |       | 特色ある取組   |       |            |
|---------|------|----------|-------|----|----|----|--------|-------|-------|----------|-------|------------|
| JET-ALT | 任用団体 | CIR等との連携 | 児童・生徒 |    |    |    | 異文化理解  | 地域活性化 | 多文化共生 | 長期休業中の取組 | 配置の工夫 | デジタルツールの活用 |
|         |      |          | 未就学児  | 小学 | 中学 | 高校 |        |       |       |          |       |            |
|         |      |          |       |    |    |    |        |       |       |          |       |            |

JET-ALTと中学生が協力して、各中学校区の特徴ある場所や伝統的行事などを英語で紹介する動画を作成し発信。

- 地域の団体や市民に協力を得て、特色ある祭りや地域の偉人に関する講話も動画のコンテンツに含める。
- 動画では、JET-ALTの外国人の視点から、日本人や現地の住民が気付かない地域の良さや魅力を英語で紹介。YouTubeに動画を掲載し、効果的に世界へ発信中。
- 今後は、生徒自身がICT機器を用いて、地域の魅力を外国人に英語で紹介する動画を作成。
- さらに、作成した動画を発表する場面として、中学生による英語プレゼンテーション大会「Welcome to our FURUSATO presentation contest」を令和5年7月31日に実施。



久峰中学校区の紹介動画



木花中学校区の紹介動画リンク (QRコード)



### ALT・CIRが活躍する県民向け世界文化セミナー（茨城県）

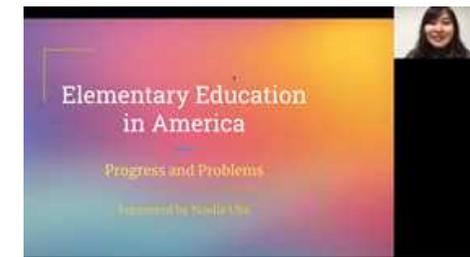
| 取組の主体   |      |          | 取組の対象 |    |    |    | 地域の国際化 |       |       | 特色ある取組   |       |            |
|---------|------|----------|-------|----|----|----|--------|-------|-------|----------|-------|------------|
| JET-ALT | 任用団体 | CIR等との連携 | 児童・生徒 |    |    |    | 異文化理解  | 地域活性化 | 多文化共生 | 長期休業中の取組 | 配置の工夫 | デジタルツールの活用 |
|         |      |          | 未就学児  | 小学 | 中学 | 高校 |        |       |       |          |       |            |
|         |      |          |       |    |    |    |        |       |       |          |       |            |

JET-ALT等が講師として、母国の社会・政治・経済・文化等について英語で紹介した後、参加者と英語で意見交換を行うセミナーを実施（CIRが企画立案）。

- セミナーは春と秋の2期、各8回実施。英語学習意欲の高い参加者に好評を得ている。
- JET-ALTにとって、配属先（学校）での活動のほか、地域住民との交流により、双方間の意見交換で物事の見方や考え方、地域の魅力などを共有することで、日本に対する新しい視点を持つきっかけとなる。参加者にとっても日本社会の課題について、新たな角度から考える機会となる。



南アフリカ出身JET-ALTによるセミナー



アメリカ出身JET-ALTによるセミナー

# JETAAについて

## JETAAについて

- J E T A A ( J E T Alumni Association) は、 J E Tプログラム経験者によって構成された親睦団体。日本での経験を活かし、国際交流の一端を引き続き担うこと、メンバー同士の親睦を深めることを目的として、1989年に成立。
- 世界の19ヶ国に55支部があり、会員数は約2.3万人である。
- アメリカにある J E T A A は、会員数11,155人、支部数20支部で世界最大規模。

<参考>各国の J E T A A の状況 (会員数 ○の数字は支部数)

1 アメリカ(11,155 ⑳), 2 カナダ(2,977 ㉑), 3 オーストラリア(2,226 ㉒), 4 イギリス(1,984 ㉓), 5 南アフリカ(905 ㉔), 6 ニュージーランド(1,079 ㉕), 7 アイルランド(531 ㉖), 8 大韓民国(409 ㉗), 9 フランス(319 ㉘), 10 ドイツ(266 ㉙), 11 シンガポール(120 ㉚), 12 ブラジル(125 ㉛), 13 ジャマイカ(106 ㉜), 14 トリニダード・トバコ(85 ㉝), 15 インド(46 ㉞), 16 フィリピン(51 ㉟), 17 インドネシア(14 ㊱), 18 日本(993 ㊲), 19 ベトナム(15 ㊳)

※JETAA-I(JET Alumni Association International)

各JETAA支部、各JETプログラム経験者、日本の政府関係等との間を調整するとともに、各JETAA支部の活動を支援する組織。

## ニューヨーク支部について

- ニューヨーク支部の会員は約1600人。
- ニューヨークにある日系機関・企業関係者との交流会やニューヨークで開催されたアニメのイベントで出展するなど、JETプログラムの紹介を行っている。



Meishi Exchange  
(NY日系機関・企業関係者との交流会)



Anime NYC  
(来場者にJETプログラムを紹介)

## J E T 地域国際化塾について

### J E T 地域国際化塾とは

- J E T 青年が、地域おこし協力隊などの地域づくり関係者との車座（意見交換）を実施し、地域づくりの優良事例を学ぶとともに、視察や体験を通じて地域活動への理解や関心を深めることで、地域の国際化に資する取組への参画を促す取組を実施（J E T 青年60名程度参加。終了後も継続的な情報提供を実施することで、地域への関心をフォローアップ）。
- 地域づくり関係者においても、J E T 青年から得られた新たな視点を踏まえ、更なる地域活性化に資する取組を推進。

(※) J E T : J E T プログラム (The Japan Exchange and Teaching Programme) で外国青年を招致して地方公共団体等で任用し、外国語教育の充実と地域の国際交流の推進を図る、世界最大規模の人的交流プログラム。昭和62年以降、累計で78か国から約7万7千人を招致している。

### これまでの取組の実績と効果

- 平成27年度から令和5年度までに8回実施。令和6年度は福島県で実施予定。  
(①石川県、②茨城県、③青森県、④宮崎県、⑤鳥取県、⑥兵庫県、⑦福井県、⑧山梨県)
- J E T 青年は、地域づくりの現場に触れて感じたその地域の魅力や改善点、地域活性化のためにできる取組や貢献等についてのディスカッションを行うことで、地域を深く理解。
- また、地域社会との積極的な関わりを持つことで、J E T 終了後も日本と母国との架け橋として活躍。
- 視察を受け入れた地域づくり関係者や地域おこし協力隊においても、新たな目線での地域の魅力の再発見につながっている。



地域づくり関係者との車座

体験/ディスカッション

**J E T プログラム参加者**  
地域への理解の深化と貢献  
(終了後も日本と母国との  
架け橋として活躍)

地域の優良事例の共有

**地域づくり関係者**  
(地域おこし協力隊など)  
外国人の視点を踏まえた多様な  
地域活性化の実現

# 第8回JET地域国際化塾（山梨県） 実施概要

## 山梨県でのJET地域国際化塾の概要

実施期間：令和5年11月15日（水）から11月17日（金）まで  
参加者：山梨県内及び県外のJET参加者62名、地域づくり関係者15名程度

### <1日目：山梨県における地域活動に関する事例発表>

○ 地域活動の魅力、地域活動への参加の意義や貢献について、山梨県内における取組、地域づくり関係者から事例発表、意見交換を行い、JET青年の地域活動に対する関心を喚起。

・成澤 治子氏（甲府市移住戦略広報官）

「何もない、できないをある、できるへ変える仕事」をテーマに、新たな価値を創出する取組について、甲府市の移住戦略も織り交ぜながら講演

・デビッド・エリス氏（インバウンド・ツーリズム専門家）

インバウンドの需要喚起をテーマに、山梨県の魅力をもどのようにして海外の潜在的な需要にアプローチしてきたかなど、これまでの取組について講演



成澤 治子氏の講演の様子



デビッド・エリス氏の講演の様子

### <2日目：地域づくりの現場を視察>

○ 地域おこし協力隊をはじめとした地域づくり関係者が活動する現場を視察するとともに、地域の文化や伝統産業を継承させるための取組を体験。

（主な視察先：機織り、革製品や印鑑等の伝統産業の工場、地域の方の耕作地等）

○ 地域づくり関係者と車座（意見交換）を通じて、地域の魅力を理解。



地域づくり関係者から話を聞くJET青年



印章技術を学ぶJET青年

### <3日目：事例発表と現地視察を踏まえた成果発表>

○ 地域の魅力、地域を更に発展させる取組などについて、JET青年同士でグループディスカッション

○ 各グループの発表に対して地域づくり関係者からの講評を行い、JET青年の地域活動に対する理解を深化させることで、JET青年による地域活動への取組を促進

成果発表の様子



## JET青年の地域活動への参画について（JET地域国際化塾の参加者へのアンケート）

- ・ 地域の魅力について、海外在住の家族や国内外の知人（外国人）に対して、SNSを使ってPRする。
- ・ 所属する地域サークルで、地域活性化への取組や地域のコミュニティと外国人が共に住みやすいまちづくりのためにできることに取り組む。
- ・ JET参加者は、外国語授業以外に、地域活性化や文化振興などの様々な地域活動に携わることができることを認識。
- ・ 今回の知見・経験を勤務する学校の生徒にも共有し、地域での活動や文化について学ぶ校外学習を実施する予定。

## 外国人の地域おこし協力隊の状況

- 既に外国人の地域おこし協力隊員として、約150名が活躍中（JET経験者含む）。
- 外国人ならではの目線を活用した情報発信、起業、インバウンドの受入れ等により外国籍の隊員の取組は高い評価を得ており、地域おこし活動に外国人を活用することの意義は大きい。

### 鉱山社宅を利用した県内最高評価のゲストハウス運営

レハン・ネルさん（南アフリカ出身・兵庫県朝来市）



- ・札幌市でALTとして勤務したのち、姫路市のALTであった双子の兄とともに地域おこし協力隊として朝来市へ移住した。
- ・朝来市が改修した鉱山社宅を利用し、ゲストハウスを運営。五右衛門風呂などのレトロな暮らしを体験でき、予約サイトにおいて県内で最も高い評価を得るゲストハウスのひとつとなっている。
- ・写真撮影の腕を活かして制作したPR動画も注目を集めた。
- ・任期終了後も朝来市で暮らすことを希望している。

### 外国人目線での地域資源の発掘と観光誘客

ベサニー・ジョンソンさん（カナダ出身・徳島県）



- ・佐那河内村でのALTの経験から、地域の魅力を海外に向けて発信することに携わりたいと思い、県の地域おこし協力隊に応募した。
- ・外国人目線で徳島県西部圏域の魅力を掘り起こし、海外に向けて情報発信を行うほか、ALTの経験を活かした観光イベント等での通訳業務や、FAMトリップのアテンドなどで活躍している。
- ・任期終了後も日本の情報を海外に発信する仕事を続けていきたいと考えている。

# J E T 青年等の外国人の地域おこし協力隊員の増加に資する取組（令和6年度新規）

## 1. J E T 青年等の外国人の地域活動への関心喚起

J E T 青年等の外国人で地域活動（地域おこし協力隊）に関心を有する者

### (1) J E T 青年等の外国人を対象とする地域活動への関心喚起のイベントの開催

○県が、J E T 青年等の外国人が参加可能な地域おこし協力隊の活動視察や交流イベントを開催。

#### 【新規①】

### J E T 青年等の外国人の地域おこし協力隊への関心喚起のイベント開催等 (上記(1)～(3)に特別交付税措置)

- 上 限 額：200万円／県
- 対象経費
  - ・会場借上費、視察先への移動費、諸謝金、参加者の宿泊、交通費、募集広報費、関心調査、情報提供、資料翻訳費、通訳 等

## 2. 地域おこし協力隊の体験機会付与

地域活動への関心喚起のイベントに参加した外国人のうち、地域おこし協力隊に関心を有する者

### (2) イベント参加者と県内受入れ団体のマッチング支援

○県が、イベント参加者への継続的な広報、イベント参加者の関心調査（隊員となり得るポテンシャル層の把握）を実施するとともに、当該調査結果の県内団体への情報提供を実施。

### (3) 外国人の方を対象とするおためし地域おこし協力隊・地域おこし協力隊インターンのサポート

○県・県内受入れ団体において、外国人の方のおためし地域おこし協力隊・地域おこし協力隊インターンを受入れる場合に、**県が**、外国人の方への特有のサポート（資料翻訳・通訳派遣等）を実施。

## 3. 採用

イベント参加者である外国人の地域おこし協力隊

### (4) 外国人隊員のサポート

○**県が**、県・県内受入れ団体において活動する外国人隊員への特有のサポートを実施。

#### 【新規②】

### 外国人隊員のサポート (上記の(4)に特別交付税措置)

- 上 限 額：100万円／県
- 対象経費：
  - ・自治体・外国人隊員の研修費、研修資料翻訳、県内の他の外国人隊員との交流経費 等

帰国・他業種へ

「関係人口」として引き続き地域に貢献